

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (4) 教員の資質・能力の向上

「日常実践を通じた授業改革」

- ・全教職員が授業を見合う「授業交流週間」の複数回の実施
- ・授業改革に特化した校内研修の実施

「初任段階教員の育成を目指すためのミドルリーダーの活用」

- ・初任段階教員層の資質・能力の向上を目指した計画的な研修の実施（BU研修）
- ・ミドルリーダー自身の資質・能力向上に向け、ミドルリーダーが講師を務め、研修を担当

「ICTを効果的に活用した授業改革実現に向けた研修」

- ・教員のICT活用指導力の向上に向け、デジタル教科書の効果的な活用、Google クラウドの諸機能を活用した授業の在り方に関する研修を実施

成果

- ICTを効果的に活用しながら、授業改革に特化した研修を実施したことにより、教員のICT活用指導力が向上し、チャレンジテスト等で成果が見られた。
- 「先輩教師からたくさん学ぶ機会があり授業準備に効果があった」と回答した初任段階教員の割合が100%となり、日常の授業改革につながった。



【「BU研修」の様子】

質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

取組 (1) 改革プロセスの明確化

- ・働き方改革推進のコアチームを組織し、昨年度の成果を踏まえた目標を設定し、職場環境の整備を図るとともに、業務改善チェックリストを活用したPDCAサイクルによる職場全体の一層の意識改革を図る。
- ・ICT機器を積極的に活用した業務（校務支援システム等）を推進することで、業務改善を図る。
- ・業務内容を精選することで、学力向上に係る取組及び教育活動の充実を図る。

成果

○時間外在校等時間は昨年度と比較して大きな変化は見られないが、児童の資質・能力の確実な育成が働き方改革の目的であるという意識の向上が図られた。

時間外在校等時間
：R3平均47時間 ⇒ R4平均46時間

No	チェック欄	項目
1		働き方改革に向けた取組を主体的に推進し、意識改革を促進している。
2		特別支援教育支援員、SSWなど専門スタッフを活用している。
3		学校の教育活動を支援する外部人材を積極的に活用している。
4		ICTを活用した教材や指導案の共有化を図っている。
5		校務支援システムを導入し、教務等の業務効率化を図っている。
6		事務職員による校務運営参画の拡大をしている。
7		若手教員の支援として、分掌編成の工夫、校内研修の充実など組織全体の中で支えていく体制を取っている。
8		教職員間で、業務のあり方、見直しについて話し合うなど業務の適正化を図れるような現場の雰囲気づくりに取り組んでいる。
9		分掌・学年会議等で時間設定するなど効率化を図っている。

【稚内南小学校業務改善チェックリスト】